



昭和 61 年から続く、  
松本市内唯一のポスターコンクール



第53回 神林ふれあい文化祭  
2年連続大会長賞の  
野口美琴さん (小5)

前日の強風が収まり、心地よい  
秋風が吹いた10月19日(日)に、  
第53回神林ふれあい文化祭が開催  
されました。

# 第53回 神林ふれあい文化祭



令和7年11月1日現在  
総世帯数 2,089世帯  
総人口 4,713人  
男 2,319人  
女 2,394人



オリジナル振付で初登場！  
K.K.D.



上記の二  
次元コード  
からアクセ  
スが可能です。  
ぜひご覧  
ください。

ステージ発表をノーマットでご覧  
になりたい方は、神林公民館までお  
問い合わせください。

館報編集委員会では、ステージ発  
表のダイジェスト映像をYouTu  
beで公開しました。



バーチャルで過去の  
松本にタイムスリップ



根強い人気のNゲージの展示



綿あめ・ポップコーンは  
すべて売り切りました



和気あいあいの福祉ひろば



10人が新加入し  
12人でハツラツ!!





大迫力で爽快だった  
大人と子どもの合同演奏



## 響き渡る 清らかな歌声

第30回を数える「長野県童謡・唱歌フェスティバル松本大会」が、10月13日(月)、キッセイ文化ホールで開催された。20団体が出演する中、神林地区を拠点に活動している「神林ひばりの会」と「童謡唱歌・歌⑤モナミ」は、菅野小学校1～3年の児童たちと一緒に舞台上に立った。

披露した「あじさいの花」「小さな木の実」に続き披露された最後の曲、映画の主題歌で

ある「さんぽ」では、歌詞に合わせたオリジナルの振付を交え、清らかな歌声と共に観客に元気と笑顔を届けていた。



## ピザ窯のお披露目



秋本番の10月13日、川東公民館で「みんなのえんがわ川東町会サロン」が行われた。新しくなった公民館を盛り上げようと集まった有志で本格的ピザ窯を作り、そのお披露目も兼ねての行事である。

町会の内外から50名を超える参加者を迎え、生地から作った本格的なピザを振る舞っていた。

ピザ窯は5月頃から作り始め8月に完成。最初は温度調節が難しくうまくピザが焼けず四苦八苦しながら今の焼き方を見つけたそうで、5分ほどでカリッと香ばしいピザが焼けていた。参加した方は「変わっていていいね」「お店で買うのより美味しい。」とピザを頬張っていた。食事の後は、民族舞踊集団迦桜羅のダンスを鑑賞して充実した半日を過ごしていた。

## 第68回松本市市民スポーツ大会 「秋季大会」地区対抗競技

### 大会結果報告

#### ●卓球の部 優勝

V S 笹賀 5対0

V S 中山 3対0

V S 島立 3対2

#### ●ソフトバレーボール T180の部 第5位

V S 里山辺 0対2

V S 寿 0対2

V S 島内 0対2

V S 本郷 1対1

V S 波田 2対0

#### ●フリーの部 順位なし

V S 波田 1対1

#### ●マレットゴルフ部 第9位

V S 波田 1対1

スコア 263

## キーワードはなに?

本誌神林版の記事内に散りばめられているキーワードを見つけて言葉にしてください。分かった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。正解者の中から抽選で**5名に500円分のQUOカード**をプレゼント! 締切は**12月22日(月)**。当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております。

【前回の答え】

ビチクマイ

【今回のキーワード】

○○○や○○○

## 鎖川

平成4年7月30日に二百号が発行されてからこの号で四百号に達しました。現在四百号を越えている地区の12番目となります。先の二百号の折は、「神林広報」時代からで、集める作業に多くの方の協力がありました。今回は全て保管してあり編集作業に支障無しです。ただその都度取材、編集に携わった方々に感謝で一杯です。

さてこれまでの神林地区の活動を振り返り辿ってみます。205号(平成5年5月)鎖川に河川浄化の願いを込めて「鯉のぼり」60本舞う。

215号(平成6年7月)7月26日松本空港開港でMD87が羽ばたきました。

225号(平成8年9月)上條信山先生揮毫碑「望郷」の除幕式が行われました。

240号(平成11年3月)福祉活動を進める為に第1回神林を考える集いを開催。

254号(平成13年7月)5月26日アルウィンが完成し26、27日1万7千人が観戦に。

285号(平成18年9月)運動会の進行役に中学生二人に登場して貰う事で実施する。

287号(平成19年1月)新年祝賀会で「神林の歌」を

斉唱し、文化祭でも全員斉唱。300号(平成21年3月)西南公園、空港図書館の完成などが取り上げられている。

308号(平成22年7月)手作りの第1回鎖守の杜音楽会を大会議室で6団体の演奏に70人集まる。

316号(平成23年10月)第41回文化祭でこれまで床上にごさを敷き座布団での鑑賞を、机、椅子式にした。

343号(平成28年5月)独特な「キーワードは何?」を始めた。人気あります。

345号(平成28年9月)最後の市民運動会で寺家優勝。368号(令和2年7月)コロナ禍で会合、催事が中止。

382号(令和4年11月)第50回文化祭に蟻ヶ崎高校書道部の揮毫、波田少年少女合唱団の華麗な演奏が光った。

385号(令和5年5月)第13分団詰所が寺家南水寺に完成落成式を行う。

ざっと読み返して見ると公民館報は、実に力作であり、時間を作り何とか取材させて貰えた方々に感謝の意を表したい。今後とも末永く神林の歌にある「七区の契り暖かく」

皆さんに公民館報が親しまれ、読まれる紙面にしていく事を願うものです。